

岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画【中期計画】の概要

(令和4年10月)

市と市教育委員会では、本市が抱えている待機児童等の存在、幼稚園の定員割れや小規模化、市立施設の老朽化といった課題を解消し、未来を担っていく子どもたちに、良質な教育・保育環境を提供することを目的に「岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針(以下「再編方針」という。)」を策定し、「今後の就学前児童に対する教育・保育の考え方」に基づき、市立幼稚園及び保育所の再編を進めていくこととしました。

岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画(以下「個別計画」という。)は、その具体的な内容(再編対象となる施設、再編方法、実施時期等)を示すものです。

- 個別計画では、計画期間を以下の3期に区分します。
 - 前期(令和2～6年度)
 - 中期(令和7～9年度)
 - 後期(令和10～12年度)
- 子ども・保護者、民間園等に与える影響を考慮し、原則として再編の実施予定の前々年度までに公表します。

●中期計画期間における実施内容 <右表に示す点線部分が、中期計画期間の対象になります>

	①大宮保育所隣接地	②春木幼稚園地	③桜台保育所地
所在地	加守町4丁目	春木宮川町	尾生町5丁目
地図 (参考)			
地域	都市中核	岸和田北部	岸和田中部
運営の主体	民間事業者	市	市
現所有形態	市有地	市有地	市有地
敷地面積	約1,900㎡	約2,360㎡	約2,537㎡
想定定員	150～160名	100～110名	150～180名
再編対象となる施設	大宮幼稚園(546名) 大宮保育所(556名)	春木幼稚園(562名) 春木保育所(545名) 大芝幼稚園(545名)	光明幼稚園(554名) 桜台保育所(519名)
開設年度	令和10年4月	令和8年4月	令和9年4月
在園児への対応	大宮幼稚園、大宮保育所の在園児の希望者は、施設完成後、当該認定こども園に転園。	春木幼稚園、春木保育所、大芝幼稚園の在園児の希望者は、施設完成後、当該認定こども園に転園。	光明幼稚園の在園児の希望者は、施設完成後、当該認定こども園に転園。
特記事項	民間事業者に土地を売却(都市計画道路用地部分を除く)。 大宮保育所隣接地での新設工事を令和9年度中に実施予定。	春木幼稚園の園地での新設工事を令和7年度に実施予定。	子育て支援センターさくらだい(桜台保育所内)を令和7年度に保健センターへ移設し、桜台保育所の敷地での改修等工事を令和8年度に実施予定。

【必要な対応と今後の進め方】

- (1) 説明会の開催: 個別計画を進めるにあたっては、対象地域の住民、保護者の方に説明会を開催します。
- (2) 効果の検証: 今後の社会情勢、保護者ニーズを踏まえつつ、再編の効果検証を行います。

●再編の全体像 (3次生活圏)

➡ : 民間認定こども園

⇨ : 市立認定こども園

地域／施設名		前期	中期 (令和7～9年度)			後期 (令和10～12年度)
			R7	R8	R9	
都市中核	東光幼稚園【敷地活用】		R6.4月認定			
	岸城幼稚園					
	浜幼稚園					
	浜保育所					
	城内保育所					
	朝陽幼稚園					
	千喜里保育所					
	大宮幼稚園					
	大宮保育所					
岸和田北部	春木幼稚園【敷地活用】					
	春木保育所					
	大芝幼稚園					
	城北幼稚園					
	新条幼稚園					
	城北保育所					
葛城の谷	旭幼稚園					
	太田幼稚園【敷地活用】					
	旭保育所					
	修斉幼稚園					
	東葛城幼稚園					
	天神山幼稚園					
久米田	八木北幼稚園					
	八木幼稚園					
	八木南幼稚園					
	八木北保育所					
	(新設民間園)					
岸和田中部	常盤幼稚園					
	光明幼稚園					
	桜台保育所【敷地活用】					
牛滝の谷	(新設民間園)					
	城東幼稚園					
	山直北幼稚園					
	山直北保育所					
	山直南幼稚園					

※ 後期計画(令和10～12年度)に位置付けられている再編の前倒しと再編対象施設の見直しについて、児童数、待機児童数、入園希望の動向、民間園の整備状況等を踏まえて、今後検討を行います。